

令和4年度 消費生活講演会を開催しました

「市民参加型の食を中心としたSDGs推進の取り組み」

令和5年3月11日（土）10時～12時

苫小牧市民活動センター（若草町）3階 会議室にて、

生活協同組合コープさっぽろ

組合員活動部 環境推進グループ長

鈴木 昭徳 氏をお招きし、近年、

注目が集まるSDGs（持続可能な

開発目標）や食品ロスを中心とした

講演をいただきました。参加された

21名の皆様からは、「大変勉強に

なった」、「また参加したい」などの感想がありました。食品ロス削減

のために事業者・企業が行っていること、個人でできることなどの貴重

なお話を聞く機会となりました。ありがとうございました。



ダイヤル交換市を知っていますか？

ダイヤル交換市は、家庭で不用となった生活用品の有効利用を図る事業で、譲りたい人と欲しい人の仲介を苫小牧消費者協会が行っています。登録された物品の情報の一部を毎週金曜日に北海道新聞、苫小牧民報に掲載しており、苫小牧消費者協会のホームページでは、全ての物品の情報を見ることができます。ぜひ活用してみてください。



電話：34-5060（平日 10時～12時以外は留守番電話に登録）
※ 詳細については、上記までお問合せ下さい

川柳お題：「スマホ・携帯電話・タブレット」

優秀賞（清水小学校）

見すぎたら どこかに消える タブレット

優秀賞（和光中学校）

打ち直す ラインを3度 あなただけ

消費生活
川柳の紹介



くらしのニュース4月号

2023年（令和5年） NO. 502 令和5年3月24日発行

発行／苫小牧市市民生活部市民生活課 ☎32-6306（直通）

物価の優等生にも値上げの影響が出ています

過去数十年において価格が安定している食品は「物価の優等生」と言われており、主に卵（鶏卵）、食パン、もやし、豆腐、バナナなどがあります。幅広い商品が値上げされる中、これらの食品にも影響が及んでいます。

品目	卵（鶏卵）	食パン	もやし	豆腐	バナナ
イメージ					
主な原因	・鶏の餌となる穀物の高騰 ・鳥インフルエンザ	・原材料の小麦の価格の高騰	・中国から輸入している緑豆の生産量が減少	・原材料の大豆の需要の拡大	・原油高が生産や輸送への影響
現在の価格	1パック 247円	1kg 480円	1kg 183円	1kg 258円	1kg 306円

※現在の価格（総務省統計局より全国平均価格）

「物価の優等生」の中でも卵（鶏卵）の価格には鳥インフルエンザが大きく関係し、店頭価格の他にも飲食店のメニューや製菓店の商品の一部が販売休止されるなど影響が出ています。今シーズンは国内26道県の養鶏場等で高病原性鳥インフルエンザが発生し、約1,600万羽が殺処分の対象となり、発生リスクが高まっています。

他の食品の値上げもあり、私たちの家計に厳しい状況が続いていますが、春以降の感染の終息に期待したいところです。

豆知識



鳥インフルエンザは、鳥類に対するA型インフルエンザウイルスによる感染症です。感染した鳥に触れることがなければ、通常は人に感染しないと考えられており、日本で発症した例は確認されていません。